

収納式オットマン付リクライニングメッシュチェア (EEX-CHM02シリーズ) 組立説明書

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

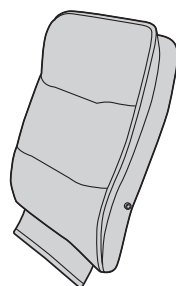
組立説明書は大切に保管してください。
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

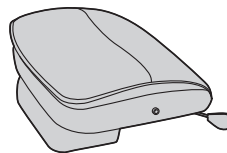
Ver1.0

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (EEX-CHM02GY など) と下記の部品番号 (①~⑬) と部品名 (ボルトA など) をお知らせください。



① 背もたれ×1個



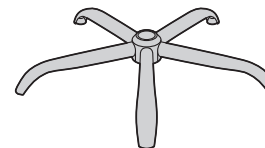
② 座面×1個



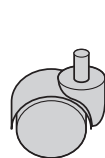
③ 肘あて (右)×1個



④ 肘あて (左)×1個



⑤ レッグフレーム×1個



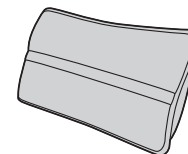
⑥ キャスター×5個



⑦ ガスシリンダー×1本



⑧ キャップ×4個



⑨ クッション×1個

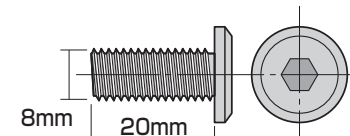


⑫ 六角レンチ (5mm)×1本

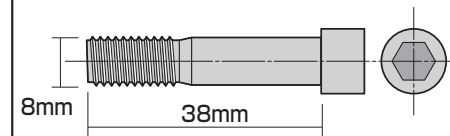


⑬ 六角レンチ (6mm)×1本

<ボルトセット>



⑩ ボルトA×4本 (M8×20)

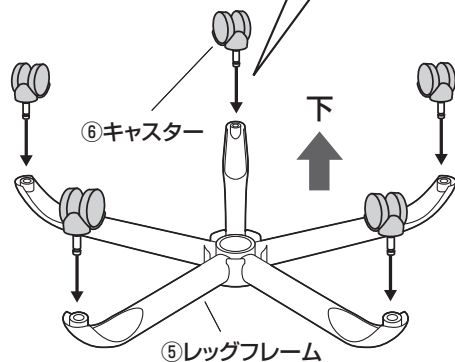


⑪ ボルトB×4本 (M8×38)

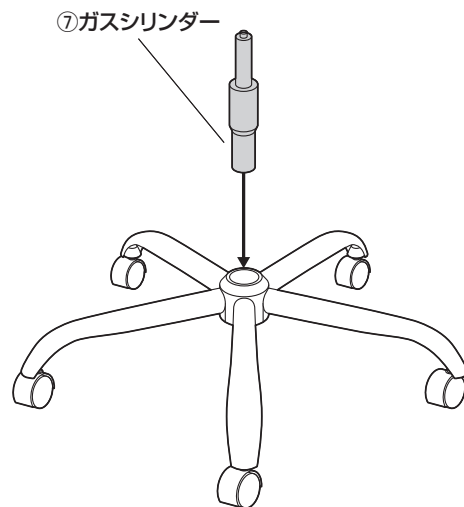
1. レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。

<注意>

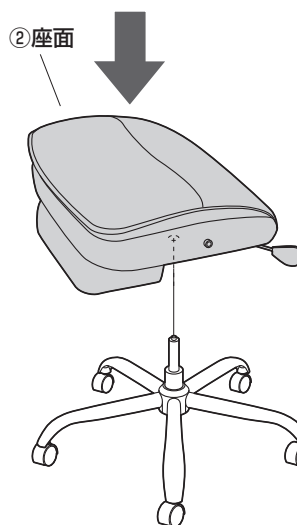
それぞれのキャスターは全て圧入式です。
(手ではめこむ)
奥まできちんと差し込んでください。



2. レッグフレームにガスシリンダーを差し込みます。



3. ガスシリンダーに座面を差し込みます。



<注意>

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



まっすぐ奥まで
差し込まれている

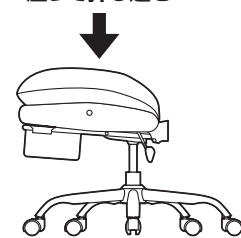


ななめに
差し込まれている

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

座って押し込む

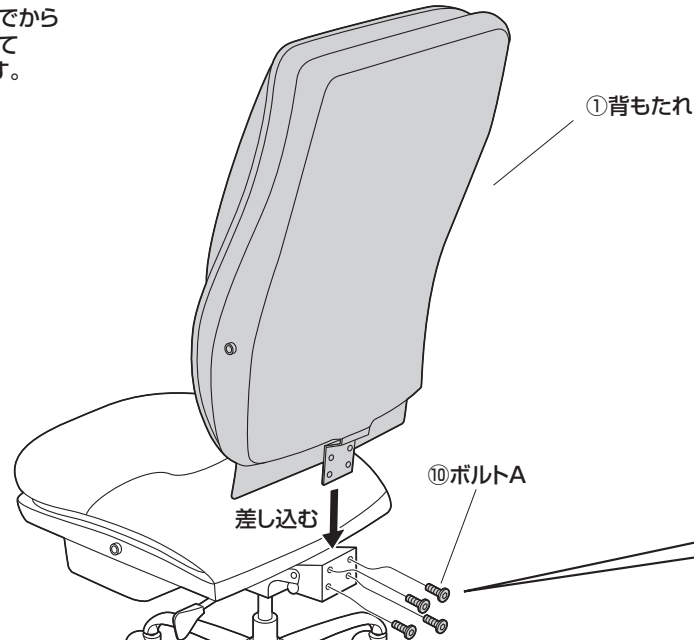


4.座面に背もたれを取付けます。

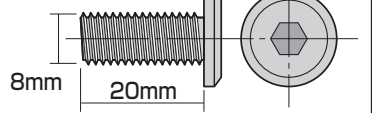
※背もたれの面ファスナーを座面の上に出しておきます。



※背もたれを差し込んでから垂直に近い状態にしてボルトAで固定します。

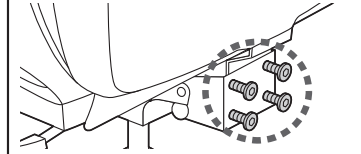


<使用ボルト>

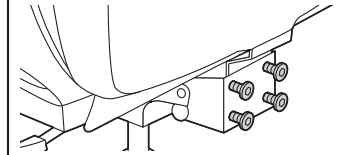


⑩ボルトA (M8×20)

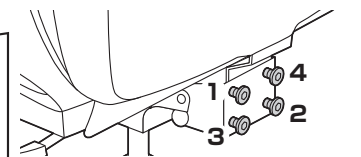
(1)4本のボルトをゆるく付けます。



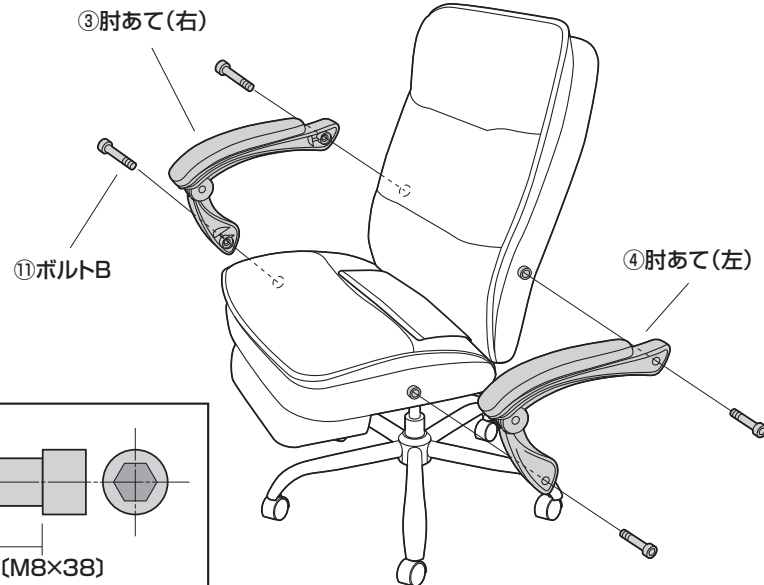
(2)すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



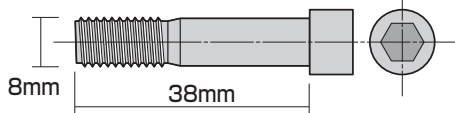
(3)最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



5.肘あてを取付けます。

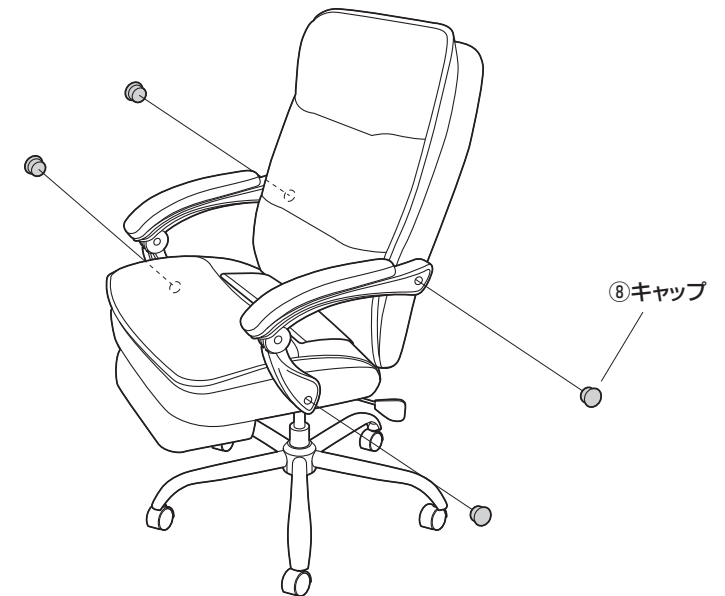


<使用ボルト>



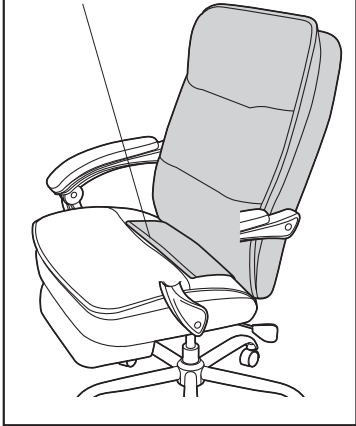
①ボルトB (M8×38)

6.肘あてにキャップを取付けます。

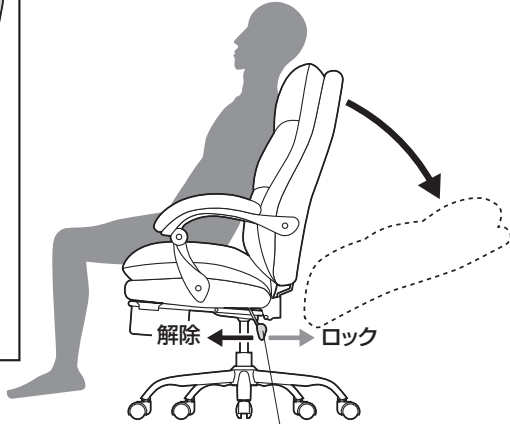


7. 背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けて、完成です。

手順 4. で出しておいた背もたれの面ファスナーを右図の手順で座面裏側に取付けます。



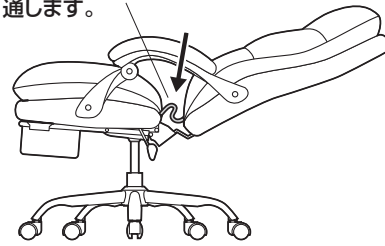
(1) 座面に座り、背もたれを倒します。
 ※レバーを解除の方向に動かします。
 背もたれを水平近くになるまで倒します。
 レバーをロックの方向に動かして背もたれをロックします。



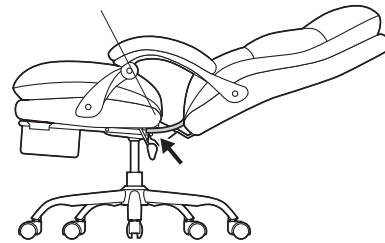
背もたれ角度調節レバー

(2) 座面から降り、背もたれの面ファスナーを座面の裏側に付けます。

座面と背もたれの間に面ファスナー部を通します。



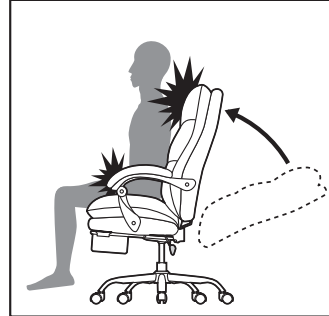
座面裏側の面ファスナーに付けます。



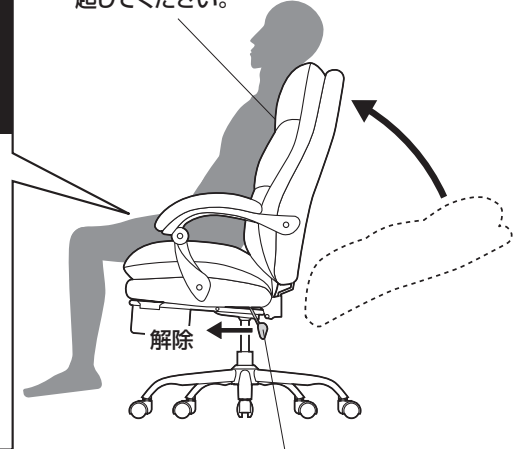
(3) 再度座面に座り、背中をつけた状態で背もたれを起します。
 ※背もたれに体重をかけずにレバーを解除の方向に動かすと背もたれが起き上がります。

<注意>

背中をつけずに背中を起すと、背もたれが勢よく起き上がり、首や背中を強く打ったり、肘あての可動部分で指などを挟む恐れがあります。



※背もたれに背中をつけて起してください。



背もたれ角度調節レバー

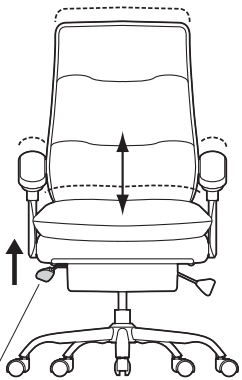
各部の調節方法

<注意>

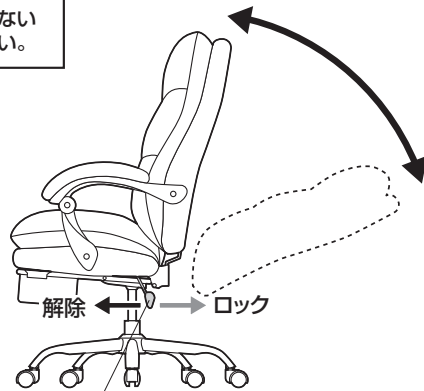
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
 正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

<注意>

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。



レバーを解除の方向に動かすと、背もたれの角度を調節できます。
 レバーをロックの方向に動かすと、任意の角度で固定できます。

オットマンの使用方法

(1) 座面の下からオットマンを引き出します。

<注意>

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



(2) オットマンを180°回転させます。



クッションの使用方法

お好みに応じて付属のクッションを使用してください。

⑨クッション



チェアの品質表示

構造部材:座部/合板・スチール 背もたれ部/合板 脚部/スチール 肘あて部/ナイロン
キャスター部/ナイロン
張り材:メッシュ クッション材:ウレタンフォーム

<ご使用上の注意>

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や膝のせ台の上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。

山陽トランスポート有限会社
店舗名: イーサプライ <https://www.esupply.co.jp>
岡山県倉敷市児島神田町1861 TEL: 086-473-9152

CC/BB/KTDaC